



春の桜を背景に未来を見据えるめじろを表現

がんばれ神崎！

復興を願う「ちぎり絵」が届く

大分市立神崎中から神崎町立神崎中へ

東日本大震災で液状化などの被害を受けた本町に大分市立神崎中学校生徒会のみなさんから大分県の県鳥であり、本町の鳥でもある「めじろ」のちぎり絵が復興を願うメッセージと共に送られました。

神崎中（ころざきちゅう）文字も読みも同じ2つの学校、大分県と神崎町の鳥が「めじろ」も同じという2つの偶然から、被害を受けた神崎町を励まそうと大分市立神崎中学校生徒会が文化祭で作成し、本町へ送っていただきました。

1月末まで、役場1階ロビーに掲示してありますので、ご覧になって元気をもらってください。

平成23年度神崎町合同紐解祝

12月7日、神崎ふれあいプラザを会場に子どもたちの成長と健康を祈念する合同紐解祝が行われました。

町長や来賓の方々から祝辞が述べられた後、千歳飴等の記念品が贈られ、子どもたちは「今日はありがとうございます。これからもがんばります。」と元気な声でお礼の言葉を述べました。

また、劇団ひとみ座による人形劇「ちいさなぞうのパオパオ」を楽しく鑑賞しました。



町長から千歳飴とクレヨンが贈られました。



役場職員組合執行部から石橋町長に図書寄贈の目録を贈呈

役場職員組合も町の復興に協力

小中学校・ふれあいプラザに図書寄贈

11月18日、役場職員組合から神崎町の将来を担う児童・生徒のために、また、多くの町民の方々が利用されるふれあいプラザ図書室に、100万円相当の図書寄贈の目録進呈がありました。

この寄贈事業は、役場職員組合で保有していましたが組合費基金を取り崩して、震災を被った町への復興に役立ててほしいとの主旨で行われたもので、今後、町内の小中校、並びにふれあいプラザに順次、寄贈図書の納品が行われる予定です。